

令和8年度 学校経営方針

1 校訓 「敬愛」 「自啓」 「健康」

- 自らに厳しく、他人の痛みがわかる心豊かな人間を育成する（敬愛）
- 学業と特別活動・課外活動等に励み、自己の可能性を発見するとともに広く世界に知識を求め、自己啓発し続ける人間を育成する（自啓）
- 健康な身体と豊かな知性を持ち、社会に貢献する人間を育成する（健康）

☆ 学校スローガン

地域に信頼され、地域に愛され、地域とともに歩む学校

2 学校教育目標

全教育活動を通して大間GP（グラデュエーションポリシー※1）として掲げた5つの能力の伸長と獲得を教育目標とする。

- (1) 自己肯定力：自分の長所・短所の両面を理解し、他者の存在も価値あるものと認め、自他を愛し、よりよい人生を生きようと前向きに努力する力
- (2) 実行する力：積極性と目的意識を持ち、自分のやるべきことを自分の意志で計画を立て、継続的に実行し、達成する力
- (3) 考え抜く力：目に見えない問題に対しても想像力をもち、客観的にその本質を分析し、課題を明確にするとともに、その解決に向けた方策を計画し、柔軟な思考と創造力をもって完遂する力
- (4) 協働する力：ルールや約束を守り、考え方や立場の違いを理解しつつ自分の意見をわかりやすく伝えるとともに周囲を信頼して適切に働きかけ、目的達成に向けてチームとしての役割を果たす力
- (5) 郷土を愛する力：地域の自然、歴史、文化、産業と生活等を知り、地域の課題に気づき、教科で学ぶ知識と地域との関係を深く理解するとともに地域に愛着を持ち、自分の成長と地域の未来に貢献しようと行動する力

3 令和8年度の重点目標と具体的方策

- (1) 学ぶことの価値に気づき、学びを人生や社会に生かそうとする生徒の育成
 - ア わかる授業の実践
生徒の実態・能力を的確に把握し、指導内容の精選と工夫を行う。
 - イ 主体的な授業の実践
知識定着を基盤に、対話的で深い学びとアウトプット能力を向上させる。
 - ウ 社会とつながる授業
地域・異校種・関係機関と連携し、地域の教育資源を積極的に活用する。
 - エ 合理的配慮の実践
 - ① 個別の学習指導の実践、個別最適な学びを推進する。
 - ② iPadの持ち帰りと課題学習、自学・家庭学習への挑戦
 - オ チャレンジする授業
ICT利活用や新教授理論に挑戦しつつ、教育の不易を見極める。
- (2) 自他の個性を尊重し、相手の立場に立って行動できる共感的な人間性の育成
 - ア 多様性の尊重

人権・個性に関する正しい知識と価値観を定着させる。

イ 信頼と称賛

公德心の確立と、生徒・保護者を「ほめる機会」を創出する。

ウ 望ましい連携

家庭（保護者）と学校の強固な信頼関係を構築する。

エ 安全と対処

健康・安全に関する知識と、適切な対処能力を養う。

オ 教育相談の充実

地域や関係機関と連携した相談体制を確立する。

(3) キャリア教育を柱とする主体的な職業観・勤労観の醸成と社会参画意識の高揚

ア 全校体制の指導

カウンセリングスキルの向上を図り、あらゆる機会をキャリア教育とする。

イ 系統的進学指導

進学意欲を高め、計画的・継続的な指導で目標達成を支援する。

ウ 適切な就業意識

労働情勢を踏まえた体験活動や資格取得指導を実践する。

エ 地域連携の進路指導

積極的な情報提供を行い、地域社会と協働して生徒を支える。

(4) 生徒が主役の主体的・実践的な活動の充実

ア 活動の活性化

主体性のある学校行事や探究活動、部活動、学校外活動（スキルアップ講座、アルバイト含む）の実践を推奨する。

イ 達成感のある活動

生徒自身が計画・実行し、達成感を味わえる場を作る。

ウ 自己肯定感の醸成

生徒主体の行事や生徒会活動を推進する。

エ 地域貢献

ボランティア等の地域活動を通じ、人間性の陶冶を図る。

4 教職員のあり方（チーム大間高校）について

～教職員の幸せが、質の高い教育をつくる～

(1) 「自分事」として取り組む

学校の課題を全員で共有し、知恵を出し合って解決する。

(2) 学びと共有

常にスキルアップに励み、学んだ知識をチーム全体で分かち合う。

(3) 地域と共に歩む

下北・北通りの文化を愛し、地域や他校と連携して生徒を育てる。

(4) 心理的安全性と幸福

互いの価値観を認め、失敗を恐れず相談できる環境を作る。

(5) ウェルビーイング

心身の健康とワークライフバランスを大切にし、教職員自身が幸福感を持って教壇に立つ。

(6) 風通しの良い職場

お互いにサポートし合い、休暇取得を推奨する明るい雰囲気を作る。

(7) 業務改善

ア 「スクラップ・アンド・ビルド」を徹底し、不要な会議や事務を削る。

イ ICT をフル活用して校務を効率化する。【連絡ツールや配布物（データ化）等の

スタディサプリ（ロイロノート）の活用】

ウ ワークショップを開催し、安心して働くことのできる職場環境を推進する。
 エ 地域 PR 活動、めんちょ活動部、部活動の在り方等、より良い方向性を検討する。

- (8) 使命感と信頼
教育公務員としての崇高な使命と責任（※2）を誠実に行動し、不祥事（体罰・ハラスメント等）を根絶する。
- (9) スピード感ある報・連・相
情報を素早く集約し、組織として迅速に対応する。
- (10) 環境の質の向上（5S）
「整理・整頓・清掃・清潔・躰」（※3）を徹底し、教育環境を整える。

※1 大間GP：グラデュエーションポリシーについて

評価基準・評価要素（ループリック評価表）

項目	C（☆）	B（☆☆）	A（☆☆☆）	S（☆☆☆☆）
① 自己肯定力	小さいことでも成功体験・達成感を感じることができる	自分の努力や進歩を認めることができる	短所も含めて自分の個性・特性を理解し何事にも積極的に取り組むことができる。	短所も含めて他人の個性・特性を理解し、自分の言動に責任を持って何事にも積極的に行動できる。
② 実行する力	指示されたことについて、すぐに行動に移すことができる。	指示されたことを正確に実行するとともにその意味を考え工夫して行動できる。	積極的・主体的に自らがなすべきことに対し、計画的に実行するとともに日々継続することができる。	目的、目標を適切に設定し、計画を的確に打ち立てるとともに修正を繰り返しつつ、継続的に実行し、やり遂げることができる。
③ 考え抜く力	想像力を働かせていろいろなこと（目に見えないことに対しても）に興味関心を持つことができる。	様々な事象について問題意識を持ち、常に「自分事（じぶんごと）」として考えることができる。	いろいろな事象・問題について比較・分類・整理し、仮説を立てて考察を重ね、課題を発見することができる。	課題解決に向け、計画的に考察を重ねるとともに創造力を持ち、柔軟かつ粘り強く考え抜き、新たな提案をする（真理を発見する）ことができる。
④ 協働する力	公共のマナーや必要とされる規律を守ることができる。	相手の話を丁寧に聞き取り、その意図を理解し要点を整理することができる。	独りよがりにならず、周囲に相談し、頼る力である「受援力」を働かせて行動することができる。	アサーティブなコミュニケーションができ、集団の目的達成に向けて周囲に働きかけ協働することができる。
⑤ 郷土を愛する力	地域の歴史や文化、生活様式等に興味関心を持つことができる。	地域のことにについて自発的・積極的に学ぶことができる。	地域と学校で学ぶ事象（授業や特別活動、行事等）との関わりに関心を持ち、地域と積極的に関わろうとする。	学んだことを自分の将来に生かそうとするとともに地域に愛着を持ち、社会貢献につながる行動をとることができる。

※2 「教育公務員としての崇高な使命と責任」「法令遵守」について

憲法および教育関係法令等の遵守と尊重擁護義務の履行はもちろんのこと、青森県基本計画及び青森県教育振興基本計画等に即した教育活動を真摯に推進するものである。

※3 5Sについて

整理	必要なものと不要なものを分ける。不要なものは捨てる。
整頓	必要なものの置き場所、置き方を決め、表示を確実にし、すぐに取り出せるようにする。
清掃	掃除をして、ゴミ、汚れのないきれいな状態にする。同時に、細部まで点検する。
清潔	整理・整頓・清掃を徹底して実行し、汚れのないきれいな状態を維持する。
躰	決められたことを決められたとおりに実行する習慣を身につける。

令和8年4月1日

青森県立大間高等学校長 米田 智

校章の由来

本校の校章は、「おおま」の **お** に高校の **高** をデザインしたものです。

3つの先端は、校訓の「敬愛」「自啓」「健康」を象徴しています。

また、下北半島の北通3ヶ町村 **大間町・風間浦村・佐井村**をも意味しています。

スクールカラーの緑の上に「高」は、金色(ゴールド) 「お」は、銀色(シルバー)で、描かれています

